

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【公開番号】特開2007-202960(P2007-202960A)

【公開日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2007-031

【出願番号】特願2006-28468(P2006-28468)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/04 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 1/04 3 6 2 J

A 6 1 B 5/07

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体の体表面に設けられ、被検体内情報取得装置から無線送信される信号を受信する複数の受信アンテナと、

前記受信アンテナを介して受信された信号の信号処理を行う受信手段と、

前記受信手段で信号処理された信号を前記被検体外部の外部装置に無線送信する送信手段と、

を備えることを特徴とする中継ユニット。

【請求項2】

前記受信手段は、前記信号処理として、特定の周波数で受信した前記信号を別の周波数に変換処理し、前記送信手段は、前記受信手段で別の周波数に変換処理された信号を前記外部装置に無線送信することを特徴とする請求項1に記載の中継ユニット。

【請求項3】

前記受信手段は、前記信号処理として、受信した前記信号を変調し、誤り検出符号を付加する処理を行い、前記送信手段は、前記誤り検出符号が付加された信号を変調して前記外部装置に無線送信することを特徴とする請求項1に記載の中継ユニット。

【請求項4】

前記受信手段で受信された信号を一時記憶する記憶手段を、

さらに備え、前記受信手段は、前記被検体内情報取得装置から間欠的に無線送信される前記信号を受信し、前記信号処理として、前記信号を受信している間、前記信号を前記記憶手段に一時記憶させる処理を行い、また前記信号の受信が終了している間、前記記憶手段に記憶された前記信号を前記送信手段に出力する処理を行うことを特徴とする請求項1に記載の中継ユニット。

【請求項5】

被検体の体表面に設けられ、被検体内情報取得装置から無線送信される信号を受信する複数の受信アンテナと、

前記複数の受信アンテナを介して受信された信号の信号処理を行う受信手段と、
前記被検体外部の外部装置と無線通信する携帯通信端末に接続され、前記受信手段で信号処理された信号を前記携帯通信端末に出力する入出力インターフェースと、
を備えることを特徴とする中継ユニット。

【請求項 6】

被検体の体表面に設けられ、前記被検体内部の被検体内情報取得装置から無線送信される信号を受信する複数の受信アンテナと、該受信アンテナを介して受信された信号の信号処理を行う受信手段と、該受信手段で信号処理された信号を出力する入出力インターフェースとを有する中継ユニットと、

前記入出力インターフェースに接続され、前記入出力インターフェースから出力される前記信号を前記被検体外部の外部装置に無線送信する携帯通信端末と、
を備えることを特徴とする被検体内情報取得システム。